

# 委員会視察成果報告書

令和5年10月10日

犬山市議会  
議長

柴田 浩行様

議員名 諏訪 毅

下記のとおり、視察の成果を報告いたします。

(1) 視察年月日	令和5年 10月 2日(月) ~ 令和5年 10月 3日(火) (1泊2日)
(2) 視察地	岡山県総社市 「多文化共生について(総社市外国人防災リーダー養成研修)」
(3) 視察の種類	常任委員会(総務委員会): 会派 ( )
(4) 視察成果 (視察地ごとに記入)	総社市においては、リーマンショックからの経済回復に伴って外国人が増加しており、特にベトナム、フィリピン、インドネシア等の東南アジア出身者が多く、人口69,602人に対し、外国人の人口は、2.52%の1753人であった。初めに「外国人防災リーダー養成研修」を視察。東日本大震災の教訓として、大規模災害時に外国人住民は情報弱者になりやすく、また、適切な避難行動を取ることが難しくなることから、外国人住民の中心となって災害時の外国人への対応をけん引する「外国人防災リーダー」の養成を平成25年度から実施している。平成30年7月に発生した西日本豪雨の際に、外国人住民を支援する側として活躍したとあった。多文化共生施策については、外国人相談窓口を設置し、行政手続きの相談など、年間約2000件の相談対応を行っている。また、市内在住の外国人全世帯に広報紙から抜粋した情報を多言語翻訳版として、配布している、とあった。また、外国人向けの防災への取り組みを強化していた。
(5) 犬山市に対する提言	外国人に対する防災については、現在消防署で行われている「外国語普通救命講習」の更なる周知と、市や各町内会などで行われる、防災訓練へ外国人の方が参加できるよう、参加対象者の拡大をすべきである。今後相談件数が増える、外国人相談窓口については、相談員の増員を図ると共に、今後多様化する相談内容に対応するためにも担当課以外でも意識を持って対応すべきである。



# 視察成果報告書

令和5年10月10日

犬山市議会  
議長

柴田 浩行様

議員名 諏訪 毅

下記のとおり、視察の成果を報告いたします。

(1) 視察年月日	令和5年 10月 2日(月) ~ 令和5年 10月 3日(火) (1泊2日)
(2) 視察地	兵庫県豊岡市 「NPO法人にほんご豊岡あいうえお」活動について
(3) 視察の種類	常任委員会 (総務委員会) : 会派 ( )
(4) 視察成果 (視察地ごとに記入)	豊岡市、兵庫県北部但馬地域で暮らしている外国にルーツを持つ人々に対して、日本語教室および生活支援に関する事業を行っている。具体的な活動の、日本語教室では、日本語能力試験対策、子育て支援、ビジネスなどを行い、外国にルーツを持つ子どもとその家族の支援では教科学習支援、放課後支援、進路相談等を行い、互いの国を理解するための国際交流イベントなどを開催し、地域との交流の場を提供している。その他にも、災害時のやさしい日本語「大阪北部地震時の事例紹介とワークショップ」も開催し、大阪北部地震時の事例紹介や、地震発生後の外国人支援の話、又、災害時の情報をやさしい日本語にし、日本語が分からない外国人から意見を聞いた、とあった。多文化交流サロン、お茶会等様々な取り組みを行っている。
(5) 犬山市に 対する提言	今回視察した「NPO法人にほんごあいうえお」さんは、犬山市の「NPO法人シェイクハンズ」と交流があり、紹介いただき訪問。シェイクハンズさん同様、日本語教室の他、様々な外国人の方との取り組みをしていることを確認した。犬山市として、これから更に増えるであろう外国人の方へのNPO法人を通しての、日本語教室以外の取り組みを考えていくべきである。

# 視察成果報告書

令和5年10月10日

犬山市議会  
議長

柴田 浩行様

議員名 諏訪 毅

下記のとおり、視察の成果を報告いたします。

(1) 視察年月日	令和5年 10月 2日(月) ~ 令和5年 10月 3日(火) (1泊2日)
(2) 視察地	兵庫県豊岡市 「豊岡市多文化共生推進プラン」について
(3) 視察の種類	常任委員会 (総務委員会) : 会派 ( )
(4) 視察成果 (視察地ごとに記入)	<p>兵庫県北部に位置し、人口は82,037人で、そのうち外国人の人口は734人。豊岡市多文化共生推進プランについては、2021年度から2025年度までの5年間の計画期間である。今回の視察に於いて、事前のいただいた資料に基づき質問を行った。「ワンストップ」について、多文化共生推進プランに「転入時にワンストップで全ての手続きを済ませることができる体制の検討」とあるが、どのような事を検討され、どうなったか? 質問した所、まず初めに多文化共生アドバイザーのダイバーシティ研究所の田村氏から、プラン策定前に、「住民登録の時に、全ての手続きを回れるように、ワンストップサービスにする。最初に来た時が大切」などのアドバイスを受け、プランに反映させた、とあった。今年度から外国人窓口を拡充し、転入した外国人を、窓口サービス課から、外国人相談窓口につなぐ仕組みを作ったとあり、さらに、日本語教室、防災ネットの登録方法、多文化交流サロンの紹介などを行っている。</p>
(5) 犬山市に対する提言	<p>ワンストップサービスについて、豊岡市では住民登録時に子どもがいる世帯には、子ども未来課、学校教育課などへつなぎ、予防接種、乳幼児健診等の説明もできているとあり、犬山市でもこのワンストップサービスを導入すべきである。又、研修会、セミナーの回数が増え、特に職員の外国人市民に対する理解が深まったとあり、犬山市でも職員に対する研修会等を増やすべきである。</p>